

# しみずの教育

## ちよっといい話

【平成30年2月号】

清水小学校

### □ ユニークな作品がせいぞろい「氷のお面」の学習から

1年生生活科の学習で「氷のお面」を作りました。毛糸で髪の毛を作ったり、ペットボトルや卵の殻で目を作ったり、それぞれがよく考え工夫した材料を使って、完成することができました。屋外で、雪と氷を混ぜたり、顔のパーツをていねいに置いていったりしましたが、風が強いため、せっかく配置したパーツが飛んでしまうなど、苦労しながらも根気よく作り上げることができました。70人の作品がせいぞろいした様子は、にぎやかでとても見事な感じでした。冬の寒い気候の中でも元気いっぱい遊ぶ一年生の姿がしっかりと表現されたすてきな作品ができあがりました。



【カラフルな容器と個性的な作品】

### □ 特技が光ったミニ自慢大会 「全校集会」の様子から

2月1日（木）3校時に全校集会を行ないました。まず、全校児童が楽しみにしているゲームです。今回は「しっぽとり」でした。1年・4年、2年・5年、3年・6年の2学年ずつで対戦をしました。3本以上のしっぽを取った人は、ファイナルステージに進出することができます。1年生から6年生まで力いっぱい体育館を走り回る姿が見られました。

気持ちの良い汗をかいた後は、各学級代表のミニ自慢大会です。きれいに澄み渡った歌声、クラリネットの演奏、一輪車の走行、物まねなど、幅広いジャンルから、自信たっぷりの個性的な特技が披露されました。優勝は、切れ味抜群のヘッドスプリングとすばらしい発音で英語での自己紹介のミニ自慢をした2年2組に決まりました。



【集会をリードする児童会役員】

一人ひとりの技が光り、多くの歓声が上がったとても楽しい全校集会となりました。

## □ どの学年も全力を尽くしたスケート記録会

今年度は、降雪が多かったり、気温が下がらなかったりと、リンク造成・維持管理作業には、造成協議会の皆様の熱心なご協力をいただき、一時間もスケートの授業ができない日がないなど、計画通りに授業を実施することができました。どの学年もスケートの技術や体力が向上し、多くの児童が達成感を味わうことができた充実したスケート学習となりました。

そして、1月31日（水）から2月2日（金）までの3日間にわたって、各学年のスケート記録会が実施されました。練習の成果を力いっぱい発揮しようとして最後まで力いっぱい滑りぬく子どもたちの姿が見られました。



【3年生の力走する様子から】

（教頭 和田 尚 史）

御影小学校

## さあ、まとめの3学期です！

校長 真 下 正 則

25日間の冬休みも終わり、いよいよ1年のまとめとなる3学期が始まりました。1月17日（水）の始業式には、子どもたちの元気な顔がそろい、また学校も活気を取り戻すことができました。それぞれの学級では、冬休み中に取り組んだ自由研究や作品の紹介をしたり、楽しかった思い出などを発表し合ったりしていました。



【そりりレー集会（児童会）】

さて、今年の冬休みの前半は、雨が降る等、気温も高くなり、スケートリンクの造成が思うように進めることができませんでした。しかし、リンク造成会の皆さんの

お力により、立派なリンクが完成し、12月28日（木）にオープンすることができました。さっそく、たくさん子どもたちが来て、初滑走を楽しんでおりました。造成会の皆さんには、大変お疲れの所、夜通し散水作業をしてくださった日もあり、心より感謝申し上げます。

スケートができる期間というのは限られていますので、一生懸命練習して上手になると同時に、体も鍛えてほしいと考えています。また、スケート記録会が行われます。練習の成果を一杯発揮することを期待しています。

ところで、今年の2月に、韓国のピョンチャンで冬季オリンピックが開催されます。十勝・

清水町在住の選手も出場することになります。日本代表として、大いに活躍を期待したいと  
思います。また、御影小の子どもたちにも、選手の活躍にぜひ注目してほしいと考えます。  
そして、それが刺激となって、いろいろな分野で自分の力を高め、そして意欲的にチャレン  
ジしてくれるとうれしいです。



【栄養教諭による給食指導】

## 清水中学校

校長 宝 輪 博 継

ちょっといい話のネタを探しに放課後廊下に出ると、すぐにいくつも見つかってしまうの  
が清水中のちょっといいところ。

3階では陸上部が長い廊下を使って練習をしていま  
した。ビートランニングといって、音楽に合わせて様々なス  
テップや動きで、足腰や体幹、バランス感覚を鍛えていま  
す。冬期間、外部活はグラウンドでの練習ができなくなる  
ため、体育館・武道館・ギャラリーなど、内部活も含め、  
順番・場所を割り振って練習に使っています。それらが使  
えないときには、こうした廊下や階段を使ってのトレー  
ニングも多いのです。のそきに行くとすぐに「こんにちは」  
と挨拶をしてくれます。「はああ、ゼィゼィ・・・こんにちは・・・」トレーニングをしながら  
も挨拶を忘れない陸上部です。



階段を下りて、2階廊下を歩くと、各教室で、担任  
や副担任、たくさんの先生が3年生の面接練習をして  
くれています。公立推薦面接まであと2日。佳境です。

何やらトイレから大きな声が聞こえます。のそいて  
みると生徒の1人が、鏡を見ながら出願理由や自己  
PRの練習をしていました。表情や立ち方も大切に  
すからね。一昨年の大規模改修で、トイレもきれいに  
していただき、生徒たちが一生懸命掃除しているから

こそ、トイレでも練習ができるのです。

3B の教室前には、卒業までのカウントダウンシート。  
そうか、もうあと 22 日しかないんだと教えられました。  
「残り〇〇日を笑顔で過ごす」などと一枚ずつに決意が示  
されています。良い卒業式で送り出してあげたいものです。



御影中学校

校長 寺島康博

## アイスホッケー全国大会、歓喜の準優勝

1月18日（木）から21日（日）まで、  
釧路市で行われた第38回全国中学校アイス  
ホッケー大会の決勝戦で、全十勝A（御  
影・清水・芽室中）が苫小牧市立和光中に2  
-4と惜しくも敗れはしましたが、全国準優  
勝に輝きました。部員16名（御影中学校は  
このうち11名）が出場し、最後までひたむ  
きにパックを追い続け、一昨年に続き快挙を  
成し遂げました。表彰式では、全力を尽くし  
て闘いきった表情が印象的でした。



合同チームであるため、単独校チームに比べ移動距離等厳しい練習環境にあり、幾多の困難に直面しましたが、部員間の意思疎通を重視した3年生の根本怜汰キャプテンや五十嵐唯翔、沼田陸アシスタントキャプテンを中心としたチームづくりにより生まれたチームワークで乗り越え、準優勝の栄冠に輝きました。

この大会を見ていて、技術も素晴らしかったのですが、それよりも生徒たちの精神面の成長がとても感じられました。「みんなで優勝を信じて完全燃焼する」という強い意志のもと、「試合は最後の最後まであきらめない」「失敗したら次に取り返す」などの強い気持ちと絆で勝ち進み、試合を重ねるたびに逞しく感じられました。



東京都選抜戦や八戸第二中戦では、はじめエンジンがかからなく相手チームに先攻され、厳しい状態の時もありましたが、立て直すことができたのは生徒たちの大会で培った強い精神力だと思っています。

多くの関係者の皆様が応援にかけつけ、たくさんの声援や祈りで選手たちの活躍を後押ししたことも力となりました。また、全校生徒と先生方の「必勝」の2文字とたくさんのメッセージが綴られた寄せ書きも力になりました。本当にありがとうございました。

生徒たちはこれに満足することなく次の目標を立てて学力も体力も更に向上させてもらいたいと願っています。

## クリスマス会へ参加（旭山学園）

昨年12月23日（土）、旭山学園のクリスマス会に本校より21名の生徒が参加しました。会場には約200人の参加者の盛大なクリスマスパーティーでした。短い時間でしたが旭山学園の方々と会食したり、歌ったり、踊ったりして、楽しいひと時を過ごすことができました。

旭山学園で生産しているニジマスの燻製と鳥の唐揚げがとても美味しかったです。クリスマス会に招待してくださった旭山学園の皆様には感謝とお礼を申し上げます。



## 新入生保護者説明会



1月23日（火）、御影小学校6年生25名とその保護者を対象とした新入生説明会を行いました。

校長の歓迎の挨拶の後、担当教員から、学校の概要と諸届け、中学校での学習、中学校の決まりと心得、制服、部活動等について説明しました。休憩の後、生徒会役員が生徒会活動などを紹介しました。

新入生の皆さんは、担当教員の質問に元気よく答えていました。しっかり前を向いて姿勢を正して話を聞く立派な態度でした。中学校入学まであと2か月余り。御影中学校の先輩方や先生方が、新入生の皆さんの入学を心待ちにしています。

清水高等学校

校長 平野道雄

## アイスホッケー一部全国高校選手権大会第3位！

### ライバル白樺に準決勝で惜敗・・・

1月22日（月）から帯広の森アイスアリーナで開催された全国高校選手権大会では、アイスホッケー部の選手とスタッフが一丸となり、1回戦から勝ち上がり、準決勝ではこれまで何度も挑んでいる強敵白樺高校との対戦となりました。

地元開催の全国大会ということで、本校では、1回戦を3年次生中心とする有志応援を行い、翌日の決勝戦での全校応援の計画も万端整え、準決勝の勝利を願いました。

準決勝は、放課後の実施であることなどから1・2年次生の運動部代表と、生徒の自主応援合わせて100名以上で声をからして応援しましたが、惜しくも1-5で敗れました。

結果は残念でしたが、今大会がアイスホッケー部にとっても、本校にとっても大きな成長の機会になったことは間違いありません。3年次生の部員にとっては最後の大会、後輩にシード権を、そして本校に元気を与えてくれたことに感謝するとともに、1・2年次生には先輩たちが築いたよき伝統を引き継ぎ、さらに部を発展させてくれることを期待しています。

新主将となった2年次生の佐藤慈生君（御影中出身）は、「インターハイは第三位に終わってしまいましたが、新人チームで気持ちを新たに練習に励み、虎視眈々と優勝を目指します。」と抱負を語っています。

保護者や地域の方々には、多数応援に駆けつけていただいたほか、全国大会に係る本校の対応にご理解とご協力をいただいたことに、この場を借りてお礼申し上げますとともに、ますます地域と共にあり、地域に愛される学校づくりへの決意を新たにいたしました。

## 勉強でも全道のライバルと切磋琢磨

北海道教育委員会では、北海道の高校生の学力向上の取組の一つとして、平成25年度より「ハイレベル学習セミナー」を実施しています。このセミナーは、東大や京大、北大など難関大学を目指す地方の高校1年生が、合宿学習により、切磋琢磨し合い、進路を実現する意欲を高め合うことなどをねらいとして、講演やグループディスカッション、教科の学習等を行うものです。

昨年度からは、それまでの中央1カ所でのセミナーに加え、全道4地域で地方セミナーも行われるようになりました。

本校からは、年明け1月5日からの3泊4日で行われた平成29年度の中央セミナーに、奥山凜君（御影中出身）が参加しました。全道各地から110名ほどが集まり、参加した奥山君は「今回のセミナーで、私は進学校の生徒たちとの差を痛感しました。ですが、講話やグループディスカッション等をする中で、清水高校でも自分の努力次第でそんな生徒とも渡り合える学力を身に付けられると思いました。この経験を活かし、これから努力して進路を実現しようと思います。」と感想を話していました。

また、1月12日（金）～14日（日）の地方セミナー（帯広緑陽高等学校会場）には牧野



【試合開始前は和やかな雰囲気での応援団】



【セミナーで刺激を受けて帰ってきた3人】

菜奈さん（清水中出身）と三上茜さん（上美生中出身）も参加しています。

総合学科では、入学後、それぞれが将来を思い描きながら様々な進路目標を定め、確かめながら、その目標に向かって挑戦していきます。本校では、そのすべての生徒の進路実現と人間的な成長のためにできる限りの支援を行っています。今後とも清水高校をよろしくお願いたします。

## 清水幼稚園

園長 福原幸江

### 木のおもちゃをありがとう



1月19日（金）清水高等学校 生産技術系列の3年生12名（男子）と3名の先生方が来園され、たくさんの木のおもちゃを持参してくれました。生徒の力作揃いの木のおもちゃに園児たちの目がきらきらし始め、どれで遊ぼうかと目が釘付けになりました。お兄さんたちに遊び方を教えてもらいながら、いろいろなおもちゃやゲームに挑戦して大喜びでした。



その後、ころがしドッジボール、カード合わせゲームで一緒に楽しみました。最後に、一年間お世話になった高校生と先生に、全員でお礼を言いました。お兄さんたちは、春からは、いろいろな道の一年生。園児は小学一年生です。お互いに頑張ってくださいとエールを送り、14年目の交流を締めくくりました。

### 御影のアイスアリーナで氷上遊び

1月25日（木）に、年中・年長さんでアイスアリーナに行ってきました。

ばら組は去年の経験を生かし、準備も早くできましたが、さくら組は苦戦。何とかヘルメットを装着し氷上に向かいました。

ゲームが始まるとばら組はすいすい上手に氷を歩いていたのですが、勢い余って転倒者が…慎重に臨んださくら組が見事に勝利！がっかり顔のばら組さんたちでした。長靴アイスホッケー、そり遊びでは、汗だくになるほど一生懸命に氷あそびとゲームに集中していました。



## 作っていただいた雪山に大はしゃぎ



教育課程の雪遊びとして、例年町にお願いしていた雪山ですが、今年は機材の都合がつかず困っていました。その様子を知った美奈ちゃんのお父さんが、1月27日（土）午後に雪山をつくってくださいました。「今年は雪山まだですか？」と言っていた子どもたちも月曜日にできていた大きな雪山に歓声が上がっていました。使い方の約束をしてからそりすべりなどで遊ぶ予定です。

教育委員会

## しみずの子 将来の夢

しみずの子どもの基本的な生活習慣等の調査結果から、「将来なりたいものベストスリー」をお知らせします。

幼児（3歳～5歳）の男子は、1位がアニメの主人公（仮面ライダー、ウルトラマン等）、2位が野球選手と消防士、3位が警察官です。正義の味方で強いものへのあこがれが感じられます。

女子は1位がアニメのキャラクター（プリキュア、プリンセス等）、2位がケーキ屋、3位がお花屋です。とても可愛らしいです。

小学生の男子は、1位がサッカー選手、2位が警察官、3位が農家とプロ野球選手です。

女子は1位が看護師、2位がパティシエ、3位が保育士です。

中学生の男子は、1位がアイスホッケー選手と農家、2位が公務員とサッカー選手。

女子は1位が看護師、2位が保育士、3位が美容師とパティシエです。

小学生、中学生になるにつれ現実性が増してきます。中学生は様々な職種に散らばる傾向にあり、ベストスリーと言っても5～6人程度です。また、半数近くが未定と答えています。

なりたいものの中には、ゲームクリエイター、メディカルトレーナー、ネイリスト、ユーチューバーなど随分とカタカナの職業が多くなってきました。将来的には新しい職業がたくさん出てくることでしょう。

（教育指導幹 清水彦一）



しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から  
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

冬～厳しさに生きる人の中で きたえ磨く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、行ってらっしゃい

笑顔で声掛け

地域は、子どもの安全

見守ろう